

スポーツの秋 いい汗流そっ！

第14回 大館市民綱引き 選手権大会



と き 11月18日(日) 8:30～ 受け付け開始
9:00～ 開会式 9:30～ 競技開始

ところ 市民体育館

部 門 小学生、中学生、高校生の男子・女子、
一般男子・女子、地区対抗

申し込み締め切り 11月9日(金)



〔中岡 体育課 〆42-0310〕

みんなおいでよ
トムトムの里

フェスティバル

流水プールを1日無料開放
(16:30まで)

25メートルプールを無料開放
(競技終了後から16:30まで)

湯夢湯夢の湯は100円で入浴できます

プールでは 競泳種目、レクリエーション種目、
エキシビジョン(水中エアロビクスほか)

広 場 では 特産市、露店

※レクリエーション、競泳種目への参加申し込みは
11月13日(火)18:00まで湯夢湯夢の里 〆52-2752
で受け付けます。



〔岡 観光物産課 〆49-3111(内線283)〕



新たな歴史を刻みます

中央図書館創立百周年

市長リポート

No. 231

大館市立中央図書館は、県内初の郡立図書館として、明治三十四年(一九〇一年)に当時の大館町に創立され今年で百周年を迎えました。この百年を振り返ってみると名称や所在地などに変更はありませんでしたが、栗盛教育団からの多大な寄付をはじめ地域住民の協力もあり、これらが現在の図書館を支えています。

飛躍的な科学技術の進歩に伴い、私たちの生活は劇的にIT化が進んでいます。でも、どんなに社会が変わっていくとも、本を読むということは絶対になくなることはないと思います。図書館は情報を蓄積していくという役割を担っていかなければなりません。重要なのは、市民の皆さんに本を読む機会を提供することです。新刊書でもちよつとだけ時期が遅れるかもしれませんが、自分で買わなくても読むことができます。その意味では、本をみんなで共同購入しているようなものです。そこに図書館のすばらしい意義があります。

そのため市では「誰でもが、読みたい時に、読みたい本を」用意しておくことを目標に、あらゆるジャンルから新刊書の購入を進めています。また、冷房設備など図書館の施設の整備に力を注いできました。さらに、中央図書館まで来るのが容易ではないというかたのために、移動図書館車「おとり号」による各地区への巡回サービスを行い、花矢図書館の移転整備も計画しています。

図書館は、決して行政の力だけでは育てていけないものではあります。「市民の皆さんが利用してくれることこそが図書館を育てていくことになるのです。多くのかたの利用が施設の充実を促し、なお一層図書館が便利で身近なものになります。」

未来を担う子どもたちのために、また今を生きる私たちのために、これからも「市民の書齋」中央図書館を利用しましょう。

小 畑 元